

連絡先：自動車局 審査・リコール課 リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線42354
 アドレス： <http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成28年11月29日

リコール届出番号	3941	リコール開始日	平成28年11月30日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 柳 弘之 問い合わせ先：お客様相談室 (12月1日より カスタマーコミュニケーションセンター) 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	①原動機（シリンダヘッドガスケット） ②速度計（スピードセンサーの電気配線）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①原動機において、シリンダヘッドの締付けが不適切なため、シリンダヘッドガスケットの気密性が低いものがある。そのため、高速走行等の高負荷時にシリンダヘッドガスケットの気密性が損なわれ、冷却水が燃焼室内に侵入して点火プラグが濡れ、最悪の場合、アイドリング時にエンストしたり、始動できなくなるおそれがある。 ②速度計において、車速センサーの電気配線をブレーキホースに固定するクランプの取付け方法が不適切なため、ハンドル操作を繰り返すとクランプが正規の取付け位置からずれることがある。そのため、車速センサーの電気配線の配索が変わり、そのままの状態で使用を続けると、当該電気配線が屈曲し、最悪の場合、断線して速度計が作動しなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、シリンダヘッドガスケットを新品と交換し、シリンダヘッドを適切に締付ける。 ②全車両、対策品のクランプを組み込んだ車速センサーと交換する。		
不具合件数	①47件 ②81件	事故の有無	①なし ②なし
発見の動機	①市場からの情報による。 ②市場からの情報及び国土交通省からの指摘による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 3941のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	JBK-SG28J	「マジエスティS XC155」	SG28J-001001～SG28J-011518 平成25年9月16日～平成26年7月28日	10,476台	①②
			SG28J-011555～SG28J-021692 平成26年8月6日～平成28年8月30日	9,690台	②
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成25年9月16日～平成28年8月30日	(計20,166台)	①10,476 ②20,166

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。